

行政コスト計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|---------|
| 経常費用 | 220,305 |
| 業務費用 | 216,209 |
| 人件費 | 15,803 |
| 職員給与費 | 14,672 |
| 賞与等引当金繰入額 | 840 |
| 退職手当引当金繰入額 | |
| その他 | 292 |
| 物件費等 | 200,406 |
| 物件費 | 164,162 |
| 維持補修費 | 63 |
| 減価償却費 | 36,182 |
| その他 | |
| その他の業務費用 | |
| 支払利息 | |
| 徴収不能引当金繰入額 | |
| その他 | |
| 移転費用 | 4,096 |
| 補助金等 | 3,981 |
| 社会保障給付 | |
| 他会計への繰出金 | |
| その他 | 115 |
| 経常収益 | 14 |
| 使用料及び手数料 | |
| その他 | 14 |
| 純経常行政コスト | 220,291 |
| 臨時損失 | |
| 災害復旧事業費 | |
| 資産除売却損 | |
| 投資損失引当金繰入額 | |
| 損失補償等引当金繰入額 | |
| その他 | |
| 臨時利益 | 37 |
| 資産売却益 | |
| その他 | 37 |
| 純行政コスト | 220,254 |

純資産変動計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位:千円)

| 科 目 | 合 計 | 固定資産 等形成分 | |
|----------------|----------|--------------|--------------|
| | | 固定資産 等形成分 | 余剰分 (不足分) |
| 前年度末純資産残高 | 252,853 | 248,354 | 4,498 |
| 純行政コスト(△) | -220,254 | | -220,254 |
| 財源 | 184,055 | | 184,055 |
| 収等 | 184,055 | | 184,055 |
| 国県等補助金 | | | |
| 本年度差額 | -36,199 | | -36,199 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | -36,182 | 36,182 |
| 有形固定資産等の増加 | | | |
| 有形固定資産等の減少 | | -36,182 | 36,182 |
| 貸付金・基金等の増加 | | | |
| 貸付金・基金等の減少 | | | |
| 資産評価差額 | | | |
| 無償所管換等 | | | |
| その他 | | | |
| 本年度純資産変動額 | -36,199 | -36,182 | -18 |
| 本年度末純資産残高 | 216,654 | 212,173 | 4,481 |

【様式第4号】

資金収支計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|--------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 364,000 |
| 業務費用支出 | 179,931 |
| 人件費支出 | 15,706 |
| 物件費等支出 | 164,224 |
| 支払利息支出 | |
| その他の支出 | |
| 移転費用支出 | 4,096 |
| 補助金等支出 | 3,981 |
| 社会保障給付支出 | |
| 他会計への繰出支出 | |
| その他の支出 | 115 |
| 業務収入 | 184,069 |
| 税収等収入 | 184,055 |
| 国県等補助金収入 | |
| 使用料及び手数料収入 | |
| その他の収入 | 14 |
| 臨時支出 | |
| 災害復旧事業費支出 | |
| その他の支出 | |
| 臨時収入 | 37 |
| その他の収入 | 37 |
| 業務活動収支合計 | 79 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | |
| 公共施設等整備費支出 | |
| 基金積立金支出 | |
| 投資及び出資金支出 | |
| 貸付金支出 | |
| その他の支出 | |
| 投資活動収入 | |
| 国県等補助金収入 | |
| 基金取崩収入 | |
| 貸付金元金改修収入 | |
| 資産売却収入 | |
| その他の収入 | |
| 投資活動収支合計 | |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | |
| 地方債償還支出 | |
| その他の支出 | |
| 財務活動収入 | |
| 地方債発行収入 | |
| その他の収入 | |
| 財務活動収支合計 | |
| 本年度資金収支額 | 79 |
| 前年度末資金残高 | 5,241 |
| 本年度末資金残高 | 5,320 |
| 前年度末歳計外現金残高 | |
| 本年度歳計外現金増減額 | |
| 本年度末歳計外現金残高 | |
| 本年度末現金預金残高 | 5,320 |

一般会計等財務書類における注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の評価基準及び評価方法

有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

(2) 有形固定資産等の減価償却の方法

有形固定資産……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 31 年

物品 5 年～15 年

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(4) 資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいません。

(5) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品の計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円(美術品は 300 万円)以上の場合に資産として計上しています。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項はありません。

3. 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 偶発債務

該当事項はありません。

5. 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

② 地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表に係る事項

該当事項はありません。

(3) 行政コスト計算書に係る事項

該当事項はありません。

(4) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分(不足分)の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分(不足分)

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

① 基礎的財政収支 79 千円

② 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

| | | |
|---------------------|-----------|------------|
| 業務活動収支 | 79 千円 | |
| 賞与等引当金繰入額 | 840 千円 | |
| 賞与等引当金戻入額(職員給与費と相殺) | 743 千円 | |
| 退職手当引当金繰入額 | -千円 | |
| 減価償却費 | 36,182 千円 | |
| その他の経常収益 | -千円 | |
| 純資産変動計算書の本年度差額 | | -36,199 千円 |

以上